

夏だ！休みだ！里山で遊ぼう！①

イベント報告

7月26日(土)、奈良県「山の日・川の日」行事に参加するイベントをGGP協賛の下「ならやまベースキャンプで行った。

このイベントは毎年行われてきていて、夏休みの期間を利用して、子供たちに自然に触れ・遊んでもらうのが目的だが、付添の保護者にも同様の体験をしてもらっている。

定員50名で募集したが、募集開始2日目で定員をはるかに超える応募者があり、当日の参加者は子供37名、保護者30名、計67名となった。

開会式までの空き時間に、子供たちを集めて、クロスゲーム・エノコログサの引張りあい・クズノハの音だしなどの自然遊びをやった。

午前中は、2班に分かれて昆虫観察をした。

子供達が追いかけて回す昆虫はバッタ類、トンボ類が多く、ショウリョウバッタが一番標的になっていた。「何虫か？」と尋ねる子供も多く、説明者は「引っぱりだこ」の盛況だった。1週間後だったらバッタの成虫がたくさんになるが、成虫のバッタが少なかったように思える。

池では、タライやバケツに捕獲されているミナミヌマエビやミズムシ・マツモムシなどのカメムシ類を観察した。人気があったのはザリガニとドジョウだ。その後、各自網で池の中の生き物を採って遊んだ。中にはドジョウをとった子供もいて、大喜びだった。保護育成しているバラタナゴも見せてもらった。

昼は木陰で食事でしたが、猛暑の中、冷たいシソジュースが出て好評だった。



昼食後は、バームクーヘン作りだ。釜戸の上で竹に生地を塗り仕上げていく作業は暑いので子供も保護者も敬遠気味だったが、スタッフの頑張りできれいに仕上がり、みんなでそれをおいしく頂いた。



その後、竹で水鉄砲作りをした。子供たちは、紐でつるしたいろんな的や飛び出してきた塩本人形めがけて水を飛ばし、鉄砲の横から漏れてくる水で服をぬらしながらも夢中になっていた。



閉会式後、カブトムシのお土産があった。

参加者アンケート結果

夏休み小学生向けの奈良県のイベントガイドのチラシを見ての申込みが半数強で、奈良市からの参加者が半数近くでした。

【保護者の感想の抜粋】・・・「自然と遊ぶのはとても楽しいものです」「久しぶりに子供と一緒にいろんなことができよいい思い出になりました」「孫がうれしそうで、こちらもうれしくなりました。」「日頃、年輩の方と触れ合うことが少ないので、年輩の方にいろんなことを教えてもらい、貴重な体験が出来ました」「暑い中、沢山のことをよく準備され、手回しもよく、感謝申し上げます」「景色がとても良く、スタッフの方が親切で癒されました」

【反省点】 イベントの目的をもう少しはっきりさせること。7月末の暑い時期を考慮して内容を再考すること。イベント内容に合わせてスタッフ人数を配置すること。 (羽尻 嵩)